

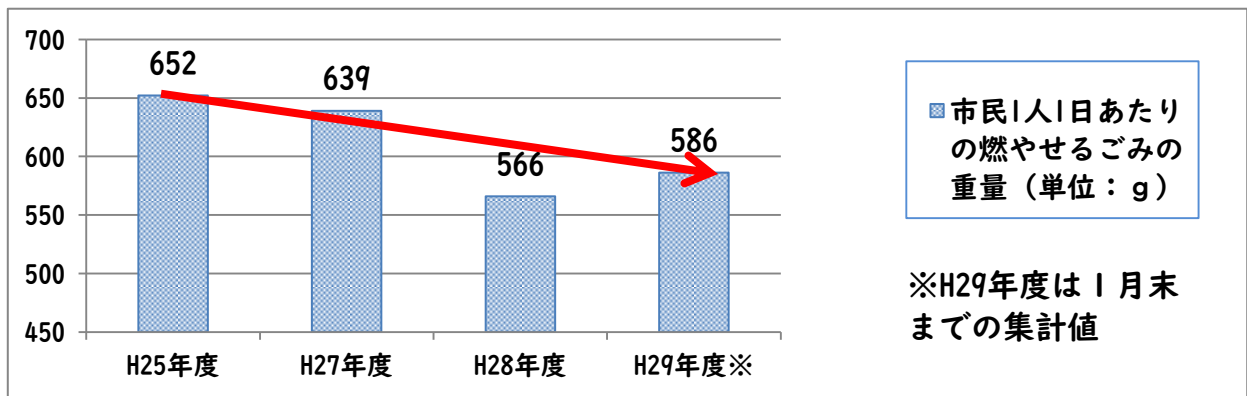
目標まであと約 10%!

【市環境対策課からのお願い H30年3月】

# 燃やせるごみの減量化にご協力ください

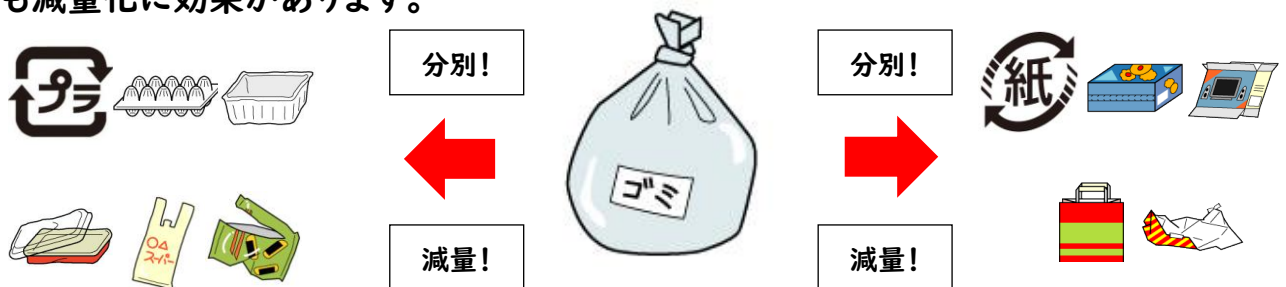
H29年度にごみステーションに出された市民1人1日あたりの燃やせるごみの量(H30年1月末現在)は586gで、H25年度(基準年)の652gと比べて約10%(66g)減っています。ごみ減量化市民行動計画の目標である20%の削減まであと約10%(約65g)の削減が必要です。引き続き、燃やせるごみの減量化にご協力をお願いします。

【グラフ】ごみステーションに出された燃やせるごみの量(市民1人1日あたり)



## 燃やせるごみを減らすためには……

家庭から出る燃やせるごみを減らすためには、燃やせるごみの中から資源となるもの(資源プラスチック類や紙類)を分別することが重要です。また、生ごみを出す前に水切りをすることも減量化に効果があります。



## 【家庭から出る燃やせるごみを1人1日あと65g減らしましょう!】

たとえば……

\*卵のパックを1箱分別すると → 約20gの減

\*豆腐の容器を1個分別すると → 約8gの減

\*ティッシュの空き箱を1箱分別すると → 約25gの減

\*ラップ類の空き箱と紙芯を1組分別すると → 約80gの減

\*生ごみを出すときにヤクルト容器1杯分の水分を切ると → 約65gの減

～毎日コツコツ続けることが大切です。～

【裏面】雑紙(ぎつがみ)特集  
裏面もご覧ください

# 燃やせるごみを減らすために

## 雑紙(ざつがみ)を分別しましょう!

燃やせるごみの中には多くの紙類が混ざっています。家庭から出されるほとんどの紙類は分別すればリサイクルできます。燃やせるごみからリサイクルできる紙類を分別することは、燃やせるごみの減量化に非常に有効です。

### 1 雑紙(ざつがみ)とは・・・

新聞紙や雑誌・チラシ、ダンボール、牛乳パック以外の家庭から出るほとんどの紙類のことで、リサイクルできる紙類のことです。(紙についたビニールや金属などの異物は取り除いて出しましょう)

【雑紙の例】 分かりやすいものから分別を始めましょう!

ティッシュの空き箱



お菓子や食品などの空き箱



ラップやアルミホイルの箱と芯



紙袋(持ち手も紙のもの)



その他リサイクルできる紙類はたくさんあります



### 2 雑紙の出し方について

紙類の収集日にチラシと一緒に出してください。  
雑紙を紙袋やビニール袋に入れて出すこともできます。

### 3 リサイクルできない紙類の例

汚れた紙類、感熱紙(レシートなど)、写真、油紙、カーボン紙、圧着はがき、  
ビニールやアルミで加工された紙、絵具やクレヨンをついた紙 ⇒ 燃やせるごみで出してください



【問合せ】 熊野市環境対策課(熊野市クリーンセンター) ☎89-2804